

日本製粉(株) 第1四半期の連結業績および通期連結業績予想

< 連結業績の概要 >

(%表示は対前年同四半期比率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	85,544	102.6	2,486	98.4	3,259	97.4	2,491	108.5
2019年3月期第1四半期	83,387	103.9	2,527	124.7	3,348	117.8	2,295	129.2

< 連結業績のポイント >

- 売上高は、食品事業の販売の拡大により増収
- 営業利益は、積極的な設備投資による減価償却費の増加等により減益

< 連結業績の概況 >

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、過熱する米中貿易摩擦により世界経済の減速懸念が高まっていることに加え、本年10月に予定されている消費増税が消費者の購買行動に与える影響も危惧されており、先行きは依然として不透明な状況が続くと考えられています。

食品業界においても、消費者の節約志向を背景に価格競争が激化する一方で、労働力不足による人件費の上昇に加え、TPP11や日欧EPAの発効による影響も予想されるなど、事業環境は厳しさを増しております。

こうした状況の下、当社グループは、絶えず変化を続ける事業環境に対処するため、販売の拡大とコスト削減を軸とした事業基盤強化に取り組み、さらに今後成長が見込まれる分野への積極的な投資や生産拠点の再構築を進め、持続的成長を目指し邁進しております。

また、かねてより三菱地所株式会社と開発計画を進め、2017年6月に着工しておりました、「新宿南口プロジェクト(千駄ヶ谷五丁目北地区第一種市街地再開発事業)」につきましては、本年8月に竣工を予定しております。

以上により、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は855億4千4百万円(前年同期比102.6%)、営業利益は24億8千6百万円(同98.4%)、経常利益は32億5千9百万円(同97.4%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は24億9千1百万円(同108.5%)となりました。

< 連結業績予想 >

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期比率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期 第2四半期(累計)	175,000	104.4	5,500	102.9	6,400	100.3	4,300	106.7
通期	350,000	104.4	12,000	106.9	13,500	103.3	9,000	106.4

2020年3月期の連結業績予想につきましては、本年5月10日に公表いたしました予想数値から変更はありません。また、配当金につきましては、現時点では1株につき年間32円を予定しております。